



国際経験 継承事業



国際経験継承事業とは

目的

自然保護に関心があり国際的な活動や視点を養いたいユースに対し、国際経験豊富なIUCNメンバーがメンターとなり、国際会議への派遣支援や知識・経験を継承をすることで、ユースのエンパワーメントを行います。

対象

IUCN-Jメンバーのみならず、NGO職員や学生、民間企業など人と自然の共生に興味関心を持つ幅広いユース(15-35歳)が対象です。



人材像

自然保護や環境についてユースならではの視点で新たな社会の在り方の創出を目指す、国際的な視座を持った人材を創出します。

メニュー

会議参加前の事前インプットやMYポジションペーパー作成を通して自身の関心や会議での関心について深めます。会議中は、同行したメンターによる現地での解説、関係者との交流を通じて経験・人脈双方の幅を広げることが可能です。会議参加後には、企業や学生、研究者など多様なセクターが参加する報告会にて、国際会議参加から得られた経験をアウトプットする機会が提供されます。費用については、IUCN-Jが全額負担する場合や、他機関が旅費を負担しつつ、本プログラムに参加する場合がございます。



参加のメリット



メリット 1

最先端の世界の動向を知ることができる！

日本には、リアルな実情を知ることができませんが、国際会議では、**他国で起こっている課題**や、**他国の課題へのアプローチ**を知ることができます。また、**専門家の知見もあり**、**リアルタイムで最先端の動向**を知ることができます。

メリット 2

世界中の人と交流できる！！

国際会議では、研究者や企業、省庁関連の方、ユースなど様々な方々と交流することが可能です。特に**同世代の海外のユースとの交流では刺激を受ける事**も多く、自分にできることを考えるきっかけにもなります。



派遣会議

主に生物多様性条約とIUCNが主催する会議への派遣支援を行っています。

<2023年度の派遣実績>

- IUCNリーダーズフォーラム
- 生物多様性条約SBSTTA25
- IUCN日中韓3か国会合



各会議
解説はこちら

過去の会議の様子も
発信中！



参加者体験談



若手NGO職員 安家叶子さん 生物多様性条約COP15

IUCN-Jの国際経験継承事業を通じて、生物多様性条約COP15に参加しました。世界のコンセンサスを決める本会議では、輝かしい瞬間が多くある一方、多くの疑問や課題が見えてきました。また、世界各地から集まった若手たちとの交流で、私たち自身が変化を起こす者であることに気付かされました。日本での活動だけでは見えてこないものでした。「私たちこそ、待ち望んでいた者である」とのホピ族の言葉を胸に、視野を広げたこの経験を活かし、さらに努力していきたいと思います。

大学生 堀田まる美さん IUCN日中韓3か国会合

海外経験も少なく国際会議に初参加だった私は、渡航前から緊張していました。しかし、会場は想定していたよりもフランクでユースの私たちを歓迎してくださいました。各国のネイチャーポジティブに向けた取り組みや研究発表では、最新の動向を知ることができてとても良かったです。プログラムの合間には、だるまさんがころんだやメンコを通して交流する機会があり、国境・年代を超えて繋がりができました！自分の未熟な点やこれからの未来を見ることができた貴重な時間を過ごすことができました。



The 5th IUCN Tripartite Meeting for China, Japan, and Korea

Date: November 27, 2023 09:00-17:30

Venue: Hoam Faculty House, Seoul National University

Organizers: IUCN KOREA National Committee

Sponsor: Ministry of Environment



若手起業家 山田理力さん IUCNリーダーズフォーラム

初めての国際イベントの参加を通じて、とても刺激的な体験をすることができました。元々ネイチャー領域の専門ではなかったのですが、野生動物や森林の問題が世界でどのように議論されているのか興味があり参加しました。イベントではGBFという枠組みを基にしたこれから進むべき方向性や、それに伴う課題など、様々な議論を間近で見ることができました。ユース世代によるピッチイベントも印象深く、若い世代が情熱を燃やして取り組む姿に心強さを感じ、自分へのモチベーションに繋がりました。

未知の世界へ
さあ、一步踏み出そう！

